

事業群評価調書(令和5年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	地域振興部 県庁舎跡地活用室	松島 勝久
施策名	3 持続可能で魅力ある都市・地域づくり	事業群関係課(室)		
事業群名	③ 県庁舎跡地整備の推進	令和4年度事業費(千円)	※下記「2. 令和4年度取組実績」の事業費(R4実績)の合計額	91,897

1. 計画等概要

<p>(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)</p> <p>長崎市の中心部に位置する県庁舎跡地において、様々な交流の場や憩いの空間を整備し、この地の歴史を活かした新たな賑わいの場の創出を進めます。なお、早期に賑わいを創出するため、使用可能な箇所から先行して活用を進めていきます。</p>				<p>(取組項目)</p> <p>i) 県庁舎跡地に整備する主要機能及びその詳細な機能並びに規模等の検討 ii) 長崎市の中心部における県庁舎跡地の歴史を活かした新たな賑わいの場の創設 iii) 賑わい創出や交流人口の拡大のための機能等の整備と企画運営の仕組みづくり</p>					
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	県庁舎跡地の整備(賑わいづくりに向けた先行整備)	目標値①	供用開始					供用開始(R3年度以降)	県議会での議論やパブリックコメント等における県民の皆様からの意見を踏まえながら、令和4年7月に基本構想をとりまとめた。基本構想に基づき、先行して開放していた第二別館跡地に加え、令和4年10月末から旧県庁正面玄関前などの供用を開始した。供用開始後は、敷地内の見学や子どもの遊び場、楽器の練習等の日常的な利用に加え、トークイベントやミニコンサート、キャンプイベントなど、県民が主体となった多様な催しが開催された。また、県職員が現地に常駐し、来場者へのアンケート調査や現地で活動されるプレーヤーの方々との意見交換などを実施するとともに、県内各地への周遊やまちなかへの回遊を促進するための情報発信、広場としての機能や情報発信機能を具体化するためのワークショップの開催などに取り組んだ。
		実績値②	—	供用開始				進捗状況	
		達成率②/①	—	—				達成	

2. 令和4年度取組実績(令和5年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要 令和4年度事業の実施状況 (令和5年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和4年度事業の成果等
				R3実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R3目標	R3実績	達成率	
				R4実績					R4目標	R4実績		
				R5計画	R5目標	R5実績						
事業実施の根拠法令等				法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業	他の評価 対象事業 (公共、研究等)	事業対象					
事業期間												
所管課(室)名												
取組項目 i ii iii	○	1	跡地活用検討経費	53,416	42,916	46,740	<p>県議会での議論やパブリックコメント等における県民の皆様からの意見などを踏まえながら、令和4年7月に基本構想をとりまとめた。</p> <p>基本構想に基づき、先行して開放していた第二別館跡地に加え、令和4年10月末から旧県庁正面玄関前などの供用を開始した。</p> <p>供用開始後は、敷地内の見学や子どもの遊び場、楽器の練習等の日常的な利用に加え、トークイベントやミニコンサート、キャンパイベントなど、県民が主体となった多様な催しが開催された。</p> <p>また、県職員が現地に常駐し、来場者へのアンケート調査や現地で活動されるプレーヤーの方々との意見交換などを実施するとともに、県内各地への周遊やまちなかへの回遊を促進するための情報発信、広場としての機能や情報発信機能を具体化するためのワークショップの開催などに取り組んだ。</p>	【活動指標】 県議会等への整備進捗状況の報告回数(回)	4	4	100%	<p>●事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> パブリックコメント等における県民の皆様からのご意見などを踏まえながら、内容の精査を行い、令和4年7月に基本構想をとりまとめた。 旧県庁正面玄関前などを活用し、先行的な賑わいづくりを進めた。 ●事業群の目標達成への寄与 旧県庁正面玄関前などの暫定供用を開始し、先行的な賑わいづくりを推進しながら、来場者へのアンケート調査や現地で活動されるプレーヤーの方々との意見交換など、各機能の具体化を進めた。
				91,897	44,797	45,918		4	4	100%		
				122,019	51,019	54,012		4				
								【活動指標】 R3: 県議会等への基本構想検討状況の報告回数(回)	4	4	100%	
								R4.5: 検証する機能の種類(種類)	7	7	100%	
								7				
								【成果指標】	—	—	—	
			県庁舎跡地活用策に係る基本構想の策定	策定	策定	—						
			—									
			H21-				【成果指標】 R3: 段階的な整備の推進	着手	着手	—		
			県庁舎跡地活用室	—	—	—	R4.5: 調査・検証結果のとりまとめ	経過報告 結果報告	経過報告	—		

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 県庁舎跡地に整備する主要機能及びその詳細な機能並びに規模等の検討</p> <p>ii 長崎市を中心部における県庁舎跡地の歴史を活かした新たな賑わいの場の創設</p> <p>iii 賑わい創出や交流人口の拡大のための機能等の整備と企画運営の仕組みづくり</p>	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>県庁舎跡地の更なる利活用を促進し、賑わいの創出や基本構想の具体化に向けた検証を進めていく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>令和5年9月に敷地の大部分をオープンスペースとして開放しており、利活用の幅も大きく広がることから、基本構想に基づく利活用を更に促進し、賑わいの創出や整備する建物の規模や配置など、基本構想の具体化に向けた検討を進める。</p>
--	--	---

4. 令和5年度見直し内容及び令和6年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和5年度事業の実施にあたり見直した内容		令和6年度事業の実施に向けた方向性		
				事業期間	※令和5年度の新たな取組は「R5新規」等と、見直しがない場合は「—」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
				所管課(室)名				
i ii iii	○	1	跡地活用検討経費	令和5年9月に敷地の大部分をオープンスペースとして開放しており、利活用の幅も大きく広がることから、基本構想に基づく利活用を更に促進し、賑わいの創出や整備する建物の規模や配置など、基本構想の具体化に向けた検討を進める。		②⑥	基本構想に基づき、更なる検証を重ねながら、整備する建物の規模・配置や整備する広場、情報発信、交流支援等の各機能を具体化を進め、その後の設計・整備につなげる。	改善
			H21-					
			県庁舎跡地活用室					

注:「2. 令和4年度取組実績」に記載している事業のうち、令和4年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点